

編集・発行

社会福祉法人

阪神共同福祉会園田苑

広報

〒661-0972

尼崎市小中島 1-1-18

TEL:06-6493-3731

私たちの目指すもの

一、地域に開かれた施設

二、入居者、家族、施設、地域みんなで作る福祉を！

三、老人と共に生きがいを見い出す生活を！

社会福祉法人阪神共同福祉会園田苑



今年も特養玄関には「園田神社」

グループハウスへの入居希望を断るな

理事長 中村大蔵

グループハウス尼崎が風雲急を告げている。存続を巡って、現場を離れたところで論議を呼んでいる。グループハウスを見に来たこともなければ、ましてやそこで生活している老人にも会ったこともない人達が、「グループハウス店じまい」を盛んに主張しているらしい。市会でも廃止の方向で当局は答弁したようだ。

一方、1.17 や 3.11 が近づくと、震災で生まれた新しい高齢者の住まい方として、あらためてグループハウス尼崎が注目され、研究者や報道陣がやって来る。1月13日にはソウル大学大学院生が見学にやって来た。海外にまで知られるほど有名な？グループハウス尼崎なのである。

そもそもグループハウスは阪神淡路大震災で、目の目を見た高齢者や障害者向けケア付き仮設住宅がその前身である。

その発展としてのグループハウスに「もう震災後ではあるまい」「いろんな高齢者住宅も出現している」「しかも、市財政も芳しくない中、あの一等地で財政効果をもっと上げなければならない」との理屈も聞こえてくる。

グループハウスは尼崎市の委託事業である。ケア付き仮設住宅の延長としての任務が終了して、グループハウスは一般施策化された経過がある。これからが、一般施策としての真価が問われている。

ましてや、阪神淡路に続く東日本、熊本では伝え聞いた被災地よりグループハウスをわが街にとの熱い願いが伝わってきた。尼崎市が震災以来、支援をしている宮城県気仙沼市にある特養「春園苑」からは、昨年2月10日付けで、稲村市長にグループハウスを存続させる英断を求める要望書が提出されている。

そんな時に、「知れば知るほど尼が好き」をキャッチフレーズにする、尼崎市が、市民のグループハウスへの入居希望を断ることがあっていいのだろうか。

ネ ナイ ガ オッテン
내 나이가 어때서 (おれの年がなんだ)
～みんなで踊った年忘れ会～

12月17日(土)夕方、入居者忘年会が開催されました。おでんやアボガドサラダ、クリームブリュレなどの料理に加え、今年は特養家族会の方々が握ってくださったおにぎりもテーブルに並び豪華な晩ごはんとなりました。

そして、園田苑名物、職員の出し物は、「ピコ太郎」ダンスなどの流行ものに始まり、「セーラー服を脱がさないで」のかわいいダンスなど、それはそれは賑やかで皆さん久しぶりに大笑いされたのではないのでしょうか。



特養家族会おにぎり作り



中村理事長と司会タモさん



かんぱ～い



特養家族会・2人羽織



併設デイの白鳥



特養・セーラー服を脱がさないで



特養・本能寺の変



センター・PPAP



ボランティアグループ「園」花笠音頭



小規模82en・館長同盟が結ばれた時



センター・三太郎物語



村山カサテリ演奏バンド



振付担当奥島(左)

私はといえば、会の最後に入居者、職員、家族さんらで一緒に踊るダンス、韓国の歌手オ・スングンさんの「おれの年がなんだ」の振り付けを任されました。1 か月前からボランティアグループ「園」や各部署に振り付け指導に回り、その甲斐あって、当日は皆さんとても盛り上がって楽しそうでした。皆さんの笑顔が見れて良かったです。来年もまた楽しみましょう！

(尼崎市「園田南」地域包括支援センター 奥島 崇)



ノロにもインフルにも負けず ～乗り切った年末イロイロ～



毎年恒例の「しめ縄作り」を利用者、ボランティアグループ「園」の皆さんとで作りました。

「良い年になりますように…」とみんなで一つひとつに願いを込めて！

(年末年始担当 山崎 則子)



おもちつき



12月28日、年末の風物詩、餅つき大会が行われました。今年は午前中に行いました。寒さも強い中、スタッフ、ボランティアは準備で大忙しでした。

入居者の皆さんは、暖かい苑内でお餅が搗きあがるのを楽しみに待たれていました。なめらかな、良く伸びるお餅が出来あがりました。皆さん美味しさのあまり何回もおかわりをされていました。

「美味しいお餅をもっと食べたい！」の声を受けて、搗き手は、朝の太陽を背に受けながら奮闘していました。寒い中、ありがとうございました。来年の餅つきもよろしくお願いします。

(餅つき担当特養2階ヘルパー 藤中 京子)



お寿司でリフレッシュ

12月10日(土)に3階入居者植西さん、柿原さん、丸尾さん、保井さん4名と大上wr、ヘルパーの金岡、家門で伊丹のすし楽(かく)へ行ってきました。

行先に迷いましたが、外出メンバー全員一致で「お寿司が食べたい」ということでしたので、美味しそうなお寿司屋を探しました。柿原さんは、マグロが大好きで4貫ほど食べられました。最近、体調が悪く元気な様子が見られていませんでしたが、元気にお寿司を食べておられたので、外出出来て良かったなと思いました。

外出すると、園田苑では見られない入居者さん同士の会話や、私たちとの会話などもあり、リフレッシュしてもらうことが出来たのではないかと思います。また機会があれば、企画をしたいと思いました。

(3階ヘルパー 家門 孝光)



予想以上にリフレッシュ ～夕方ラジオ体操～

園田苑の朝は、お正月の1月1日を除いてラジオ体操から始まります。そして、今年の1月からは、夕方にもラジオ体操をすることになりました。最初は「夕方にラジオ体操!？」と思っていたのですが、日中に動かしていなかった身体の筋が良い感じに伸び、予想以上にリフレッシュになります。入居者の皆さんも積極的にされているので、効果を実感されているからだな!？と思いながら一緒に体操させてもらっています。



”句集 ZEN” 発刊

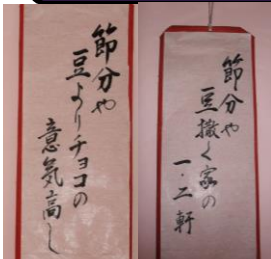
デイサービスセンターZenでは、毎週水・土曜に俳句会が行われています。この度、その活動の一つの通過点として“句集 ZEN”が発刊されました。

句集のあとがきより、ZEN 俳句会の指導者でもある花城さんの文章です。

『ずいぶん長い間、句作をしていると自分では思っている五年程です。どんなに自分で良い句が作れたと思っても、撰者に寄って受け方が違いダメ出しの時をどれ程過ごして来たでしょうか。

こんな私がZEN句会を引っ張って行くと言う大それた事をしています。まだまだ教えて頂かなければならないのに申し訳ない思いで頑張っています。

どれ程のことが皆様方に伝えられるのか少々心配ですが、これから先も新しい一歩、二歩が踏み出せる様に皆様とご一緒に句作りを楽しみましょう。どうぞよろしくお願い致します。』



生まれて初めての串カツは 通天閣のある街で

去年の12月、藤原さん、橋本さん、前田富子さんと、山崎主任、ヘルパーの片岡、長谷川で通天閣に行ってきました。道中の車の窓から見える外の景色を皆さん楽しんでおられました。通天閣を見たとき、「すごい!」と言われたのが印象に残りました。

昼食は串カツ屋に行きました。橋本さんは「串カツは生まれて初めて食べます。」と仰りながら美味しそうに食べておられました。目の手術をされたこともあり、「目が見えると一段と美味しいわ～」とニコニコされていました。前田さんは、串カツを噛みしめるように食べる姿が印象的で、10本程度食べられました。藤原さんは、目をつぶり味を確かめながら食べておられました。「もう食べれませんわ」と言いながらも、お皿の上に串カツが並ぶと全て平らげていました。30本程度食べられました。何が一番美味しかったかと聞くと、シュークリームの串カツと仰っていました。

お腹もいっぱいになったところでお土産を買いに行きました。お土産を選ぶ時、3人さんは、一緒の物が良いと言い、買われていました。

一人ひとりの表情がゆっくり見られたのが良かったです。また企画したいです。
(2階ヘルパー 長谷川 ちひろ)



かごや台車持参でいざ！！買い出しへ

12月27日（火）正月の買い出しに阪神尼崎の市場へ行ってきました。
久しぶりの市場は、相変わらずの激安！大繁盛！
昔と比べると、店が減っているのが残念でしたが、良い買い物が出来ました！（秀石）



買い出しで買ってきたものを、スタッフが丹精込めて作りました。昔から食べられていたものと、少し食べやすくアレンジしたもの、お年寄りも喜んでくれると思います。（盛）



小規模のお正月は元旦に一人ずつ重箱に盛り付けたおせち。
2日はすき焼きと買い出しの食材が大活躍しました。お肉はやわらかいと大好評でした。

大晦日はセンターもおせち作り。
これで新年も安心して迎えられます！！



毎年恒例の餅つき大会を12月18日、日曜日に開きました。

ハウスでは一年間お世話になった方々にお礼の意味もかねて入居さんとボランティア、近所の方もみんなであつて丸めて食べちゃおう！とにぎやかに餅つきをしています。
今年は、近所の子供さんもたくさん来てくださり入居者の方もにっこり。

最近では自宅で餅つきをされる家がほとんどなく見るのも触るのも初めての子供たちと貫禄十分の皆さんで二升のもち米も餅になりどんどん皆さんのお腹の中に入っていました。

毎年、餅つきをしたらもうすぐお正月。体に染みついている皆さん。
心もすっきり新年を迎えられました。（グループハウス 下木 薫子）



餅つきでつながる人との輪
グループハウス

恒例年越しカウントダウン

～終わって、始まってバンザイ～



寒風吹きすさぶ大晦日11時。ゆすらが、「こんな時間に何？」という顔でお出迎え。

朝から職員が作ったおせちや、恒例になったイタリアンおせちなどがずらっとテーブルに並んでいます。東園田からわざわざ参加してくださった仲山さんや入居者のお孫さんと色々な顔ぶれに囲まれて、新しい年への願いを込めた「ばんざい」が響きました。



今年も園田苑のお正月はゆっくり遅い目の初春の会から始まりました。着物姿の女性職員も加わりお目出度い気持ちで新年を迎えられました。

園田神社の鳥居は今年も苑内で活躍しました。皆さんの一年の抱負を発表して頂き、豪華なおせちをつつき、地域の神社へもお出かけ。

いつもと変わらないことの幸せを今年も皆さんと。



遅ればせながら・・・明けましておめでとうございます！去年の9月に厨房に異動し、初めてのお正月を迎えました！

噂では大晦日はおせち料理作りで大変だと聞いており厨房さん凄いなあと思っておりましたが、まさか自分がそんな大変な部署に所属するなんて思ったこともありませんでした。

毎年時間を掛け豪華なおせち料理を作って頂いていたのですが、廃棄が多くどうにかならないものかと考えておりました！そして何よりどうしたら楽出来るかを考えに考え出した答えが特養職員と共に作ろうという事でした！

そして廃棄をなくす為に1人1人お膳で提供しようと思いました！秋山管理栄養士を始め特養職員と更にはボランティアさん、施設長まで巻き込み・・・いえいえ、協力して頂きました！



元旦当日、素敵なお膳が出来上がり皆さんに喜んで頂け大変嬉しく思いました！自分の手柄のように言っておりますが盛り付け飾りは全て秋山管理栄養士が行いました！まだまだ至らぬところは多々ありますが美味しいのはもちろん、皆さんに喜んで頂ける食事提供出来るよう厨房職員一同頑張りますのでどうか宜しくお願い申し上げます！

(厨房 山根 靖恵)



初笑いはおせちの会から

2017年1月3日(火) おせちの会が開催されました。365日営業している認知症対応型デイサービス利用者と地域で独り暮らしの方と合わせて22名。一緒に新年をお祝いしました。田中施設長から新年の挨拶、参加者を代表して山本さんに乾杯をお願いしました。



テーブルいっぱいのご馳走を囲み、しばし和やかな時間が流れます。

おなかがいっぱいになったところで、恒例の今年の抱負インタビューです。

「いくつになってもときめく気持ちを持ち続けたい」「気楽で良い人ばかり。安らぎの場です」「句会の本ができました」(Zenの句会の宣伝もいただきました) デイ利用者からは「運動会をやりたいです」との心強い抱負が。今年もぜひ開催します! 胸が熱くなりました。

個人的には昨年、訪問介護から異動となり、失敗することも多く反省することも多い1年でした。さらに、物がぶれて見えたり、今までとは違う自分にもどかしさを感じることもあります。

28周年の時に、施設長より「私たちの仕事は何気ない1日、普通の1日を特別な1日に変えていく仕事です」と言われた事が心に残っています。自分自身、気の利いたことが言えるタイプでもなく、何か優れた能力があるわけでもありません。けれど、1人ひとりの輝いている時間に

光を当てることができそうな気がするのです。決して、毎日楽しいこと、楽な事ばかりではないですが、皆様の1日1日が特別な日になりますように。日々努めていきたいと思います。私の抱負も有言実行あるのみです。

(認知症対応型通所介護 村上 かおり)



冬休みみんなでお昼ごはん会

12月26日、27日、1月6日の3日間、戸ノ内野土香でお昼ごはん会を実施しました。

年末はしめ縄飾りづくりをしました。「キラキラしてきれい!」たくさんの飾りの中で一番好評だったのが色とりどりのモール。作りながら昨日テレビで見たスマップの「世界に一つだけの花」を1人が歌いだし、皆で「ナンバーワンにならなくてもいい もともと特別なオンリーワン♪」と歌いながら飾りつけをしていきました。

「自分はしない」とテーブルの下でゲームをしていた男の子。モールが床に落ちたのをハート型に作ってそっと手を伸ばして渡してあげる姿も。皆に「ちょうだい、ちょうだい」と言われ、ゲームを中断して希望に答えてあげる姿はとても微笑ましいものでした。飾りつけをし、「世界に一つだけのしめ縄」が完成。子どもたちと歌ったりお喋りをしながら楽しいひと時を過ごしました。

(尼崎市「園田南」地域包括支援センター 主任介護支援専門員 熊本 久美子)

世界に一つしかない
しめ縄飾りと酉の置物



年始は書き初めをしました。1年生の女の子。「お習字は初めて」とのこと、はらい、とめなど梶山さんが声掛けしてくださいました。練習していくうちに上達していき、お正月気分を味わいました。

つづれ草子

～人と関わる・寄り添う～

ある日のこと。藤原さん「ちょっと兄ちゃん、ひもがほどけてるよ」とエプロンのひもを結んであげていました。アルバイトの河合君もじっと結び終わるまで待っています。これが一度だけでなく何度もあるようで・・・。
微笑ましい朝のやり取りです。



奥さんの前田久子さんが初めてのショートステイご利用日の夕食後。

「部屋に戻る」とのことで一緒にお部屋に向かう道すがら、「お父さんの様子を見てから寝たい」と仰られたので付き添って行きました。このお父さんとは、入居されている前田和次さんのことです。

傍に寄り、「お父さん、お父さん」と声を掛けておられました。和次さんの反応が無かったのか、急に泣き始めてしまいました。泣きながらも、「おとうさん、どうしたの？」と声を掛け続けておられました。私は、ただただ見守ることしか出来ませんでした。

身体に触れながら、ひざ掛けをなおしながら、優しく語り掛けるように少しお話をされてからその場を後にされました。多分、久子さんが思っていた以上に受け答えが出来なくなっていた和次さんに心が震えたからだと思います。

(特養 長谷川 ちひろ)



お知らせ

兵庫県助成事業 ひょうご介護サポーター研修

「介護業務 1 日体験講座」

介護の仕事に興味のある方（資格不要）、無料で体験してみませんか。

日時：平成 29 年 2 月 12 日（日）午前 10：00～16：30

会場：園田苑（住所：尼崎市小中島 1 丁目 1-18）

担当：山崎則子（介護福祉士）

参加費：無料（昼食・テキストが付いています）

主催：特別養護老人ホーム園田苑 電話 06-6493-3731



編集後記

いくらハードが良くっても、それを使うソフト（ユーザー）が良くないと、快適な環境は継続されない。と思う。メンテナンズって本当に大事。皆さんも身体大切に。
(きりん)

当たり前のことですが、寒い！

若い頃は平気だった寒さも、歳がいくほどに骨身にしみてきます。懐の寒さも！
(だるま大使)

「がっぽがっぽ稼ぐ」かねたろうのような気持ちはなかなか受け入れられないが組織が生き残っていく、存続させていくための努力はどこもしている。世の中の動きに乗り遅れるな私。（きんたろう）

仏の足あと、鬼の足あと。鬼の足あとは写真ではちょっとお見せ出来かねます。
(鬼)

